

ひまわり1 国語科	片仮名いっぱい書けました！	ひまわり②
目標	身の回りのラ行の片仮名の言葉を読んだり書いたりすることができる。 (書く・読む)	
使用したICT機器類・教具等	大型テレビ、HDMI端子、タブレット端子	
思考ツール・プログラミング	フローチャート	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・フローチャートを用いることで学習の順序を可視化し、できた場合やできなかった場合の進み方について、見直しをもって学習に取り組む。

◆授業の実際

1 ラ行の入った片仮名の言葉を読んだり書いたりする。

- プリントで練習したラ行の入った言葉を大型テレビで提示して、読めたら写真が出てくるようにすることで、意欲的に読もうとする姿勢が見られた。
- 学習順序を示したフローチャートにしたがって、読みまちがえたら最初の読む活動に戻ることで、確認しながら学習を進めることができた。

2 物の名前が書かれた片仮名カードとものをマッチングする。

- 物の名前が書かれた片仮名カード1枚を選び、読めたら教室内のどこにあるのか探し出して、伝えることができた。
- 読めない文字があったらヒントを見ること、ラ行でわからない文字があったら板書のフローチャートを見ながら読む活動にもどることで、多くのカードを読むことができた。

3 「オクラ」のカードを書く。

- オクラのラの字のみを書くことにすることで、カードを完成することができた。

4 振り返りをビデオ撮影して、交流学級である4年生に学習内容を伝え、交流できる機会をつくる。

- 「オクラ」と書いたカードをもち、タブレット端末で振り返りを撮影した。撮影動画を再生して見ることで、めあてを達成できたことを実感できた。



[学習手順の確認]



[カードを選んで読む]



◆実践を通して

- ・フローチャートを用いて手順を可視化することで、迷ったときやわからないときに、最初に戻り、筋道にしたがって学習を行うことができた。しかし、何回も答えるなかで正解を導き出していることもあった。フローチャートに戻り、手順の再確認をすることで、さらに落ち着いて学習に取り組めると考える。
- ・練習プリントの文字を書くことができたときに、そのものの写真が大型テレビに映し出されることで、書いたり読んだりする活動に興味を持続して取り組むことができた。